

報告書の作成にあたって

参議院は、平成15年7月28日の参議院改革協議会報告書の提言「ODA経費の効率的運用に資するため、新たにODAに関する専門の調査団を派遣すること」等に基づき、平成16年度から毎年度ODA調査のための議員派遣を行っている。

第11回目となる平成26年度のODA調査派遣は、アフリカ・中東地域としてヨルダン・ハシェミット王国、イラク共和国、モロッコ王国、英国班、中米地域としてドミニカ共和国、パナマ共和国、ニカラグア共和国、コスタリカ共和国班、南アジア・東南アジア地域としてフィリピン共和国、ベトナム社会主義共和国、モルディブ共和国、カンボジア王国班、中央アジア・東アジア地域としてタジキスタン共和国、キルギス共和国、大韓民国班の4班で実施された。

本報告書は、上記4地域に派遣された議員団の調査結果を1冊に取りまとめたものである。各派遣団に1章を割り当て、参加した議員の総意により、調査の概要及び所見を記述している。

報告書は、過去の取扱いと同様に、議員各位に配付するとともに、関係諸機関等に送付し、また、本院ホームページ等を通じて、広く一般に公表することとした。

厳しい財政事情の中、政府開発援助の一層の効率化が図られるよう、本報告書が関係委員会等における国政審議に活用されることを切望するものである。

最後に、今回のODA調査派遣に当たり、内外の関係機関等の方々には大変なご協力を頂いた。ここに改めて感謝の意を表したい。

平成26年11月記

参議院政府開発援助調査派遣団

ヨルダン、イラク、モロッコ、英国班	団長	松山政司
ドミニカ共和国、パナマ、ニカラグア、コスタリカ班	団長	中西祐介
フィリピン、ベトナム、モルディブ、カンボジア班	団長	榛葉賀津也
タジキスタン、キルギス、韓国班	団長	佐藤正久